

読書バリアフリー研究会 アンケート回答 (2018_06_23 宮崎会場)

～みんなに読む喜びと楽しさを伝えよう～

参加者 **87**、アンケート回収 **77**

1. この講座をどちらでお知りになりましたか。

新聞・雑誌	4	宮日新聞 3、朝日新聞 1
ちらし・DM	25	
友人・知人の紹介	21	
ウェブサイト・ブログ	3	県立図書館 HP 2
メーリングリスト	1	
その他	22	学校 11、職場 6、図書館 3
未記入	1	
合計	77	

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満	未記入
67	9	0	0	1

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・河野教授のお話、必要としているエキスがぎゅっと詰まったお話でした。分かりやすく納得でした。たくさんの方々と一緒にまた聞きたいと思いました。 ・松田先生のお話、実践することの喜び、楽しさを改めて思い出させていただきました。デジタル＋アナログの融合によるお話に元気をもらいました。 ・野口教授のお話、図書館に関する講話の中から、タニマーに焦点をあてたお話を初めて聞きました。視点を変えて障害のある児童生徒のことを考えてみるのが新鮮でした。 ・本や図書館に関わっていると「読むことのできない子」は「本に向かない子」として、認識していたように思いました。まさに興味ないなら来なくていいよ、と。しかし、それは、そうした子どもたちを「排除」していたのだと気づきました。 ・DAISY 図書のいろいろな活用や可能性について知ることが出来て、大変勉強になりました。学校(小学校)に戻って、もっと活用していきたいと思います。 ・金沢星稜大学河野先生のお話は、情報が整理されてとても分かりやすく、教育の現場が一番知るべき内容だと思ったので大満足です。 ・マルチメディア DAISY の学校図書館での活用法、研究報告、とても興味深く聞かせていただきました。やはり、子どもと図書をつなぐ「人」の存在が大きいですね！ ・それぞれの立場からの 3 本の講話がとても興味深く良かった。特に「学習障害って何だろう」のお話は、内容資料等とても精選され分かりやすかった。またお話をお聞きしたい。 ・LD と言葉は知っていても、具体的な症状や対応はぼんやりとしか知らなかった。今回、LD の特性や支援、支援が必要な人への接し方など、具体的に知ることができ、勉強になった。 ・学習障害について詳しく知りたく、この講座に申し込みました。河野先生の話がとても分かりやすく、職場に持ち帰って他の職員にも伝えたいと思いました。松田先生のお話は中学校で支援学級を担当している立場として参考になりました。野口先生のお話は図書館関係の方向けのお話に感じましたが、とても勉強になりました。読書バリアフリーの実現のために学校でできることを少しずつ行っていけたらと感じました。

- ・幅広く、奥の深い話をいろんな方面から聞くことができました。これまで自分がやってきたことを猛省しつつ、「知らないこと」の怖さも再認識しました。もう少し多くの学校の先生方に聞いていただけたら…と思いました。
- ・一つ一つの講座の内容がとても分かりやすかった。
- ・講師の人選がすばらしいです。
- ・マルチメディア DAISY や多様な本、ボランティア育成など図書館の4原則の視点から学校図書館の整備を進めていきたいと思います。
- ・読み書き障害について、改めて頭の中を整理することが出来ました。小中学校のすべての先生方に聞いていただきたいお話でした。松田先生の実践についても、子どもたちが興味を持てるような仕掛けがたくさんあり、同じツールがあってもそれをどう実践に活かすかは、指導者次第であることに改めて気づかされました。WISC-IV を活用したことについても、もう少し詳しいお話を聞きたかったです。
- ・これまでぼんやりとしか知識のなかったことが、クリアに分かった気がしました。ディスレクシアの人の苦しみを理解すると同時に、これまでの自分を反省しました。河野先生、松田先生、野口先生のお話、素晴らしかったです。
- ・指導して頑張らせることより代替を考えたほうが良いということがよく分かった。
- ・学校にも無償でCDがいただけることを知り、ぜひ活用したいと思った。
- ・講師の先生の話が分かりやすかった。
- ・初めて聞くこと、知らなかったことが、たくさん！！とても興味深く聞かせていただきました。
- ・講座の内容が障害のある子どもたちの読書にとって、1.理論、2.実践、3.環境のように多岐にわたり構成されていました。各々の専門的立場から、講義いただけただけで、漠然としていた読書に係るバリアフリーが少し確かなものになったような気がします。
- ・目からウロコの話がたくさんありました。「わいわい文庫活用術」はとても参考になります。
- ・さまざまな障害を持っている方々(特に子どもたち)にとって文字、会話を学ぶツールとしてマルチメディア DAISY 図書がいかに有効かを学ばせていただきました。また、松田先生の DAISY 図書の実践発表では、驚きとともに感動を覚えました。マルチメディア DAISY 図書導入に当たっては、子どもたちにマルチメディア DAISY 図書が完成するまでの経緯を事前に情報提供することの大切さを知りました。
- ・マルチメディア DAISY の活用例を具体的に知ることができた。また、読み書き障害についても理解できた。
- ・マルチメディア DAISY 図書の実践報告を知ることができてとても参考になりました。学校司書として前の勤務校で数名の児童に活用していました。担当の支援スタッフの方から絵本では落ち着いて読まないのだが、DAISY はお話を全て読んでいと言われていました。全ての人に読書を楽しんでもらうために取り組んでいかなければならないことを、本日の講座で学ばせていただきました。
- ・県立図書館としてやらなければいけないことを、ズバツと言ってくださったので身の引き締まる思いがしました。
- ・1.学習障害について大変よく分かった。そして、学習障害の人は普通の学校で大変だ、支援が必要ということも分かった。何とかしてやらねば、と思った。
- ・2.素晴らしい実践だ。宮崎も県立図書館と学校との強い結びつきが必要だとわかった。県立図書館の中にモデルコーナーを作ったらいい。
- ・3.宮崎によく来てくださり、宮崎のためにいろいろアドバイスくださっており、これからもそして県立図書館にも協力してください。
- ・とても狭い世界(ひとつの点字図書館で点訳音訳ボランティアをしています)しか知らなかったもので、別の角度、別のレイヤの方々の見ている世界を知ることができて有益でした。

- ・専門的な話が聞けて良かった。小学校の教員をしているが、今まで子どもたちにとって、適切でない手立てをとっていたなあ、と反省したところです。とつても勉強になりました。
- ・自分の子どもが読み書き障害なのではないかという不安を何年も抱えているのですが、どこに相談すればよいか、そうであった時にどう向き合っていけばよいか…と思い続けての参加でした。教育関係ではない立場での参加でした。とても勉強になりました。私は読書が大好きなのですが、最後の矢部さんのお話に、読書の楽しみをなかなか感じる事ができない辛さを教えられ、個人の立場で何かできることはないのかと強く思いました。
- ・わいわい文庫の理念、よく伝わりました。これまで以上に子どもたちへ活用したくなりました。そのためにも、環境をととのえ、先生方へ普及（理解推進）していきます。一人でも多くの子どもたちが自分で主体的に、本を楽しめるように実践展開します。
- ・障害のある子どものための学校の図書館に求められる機能について、事例を交えながら具体的に知ることができました。
- ・科学的な裏づけのある話で、納得することが多かったです。実際に利用されている様子が映像や写真で見られて良かったです。
- ・熱意を感じ、いろいろな利用者が使うには、どうすればいいか考えることができました。
- ・実践のお話を聞くことができて良かったです。
- ・内容、講師、タイムスケジュール全て良かった。
- ・普段何となくマルチメディア DAISY のことを知っているようなつもりでいたのが、今回の会で非常に分かりやすく理解できた。
- ・河野先生の「学習障害って何だろう？」→すごく分かりやすくありがたかったです。スタートラインに立ってもらうことがとても大切なことだと分かり良かったです。松田先生の、本からちようちよが出てきたのはとても良かったです。すごい研究をされているなと思いました。野口先生の「これからの図書館を考える」お話もすごくためになりました。すばらしい時間をいただき本当にありがとうございました。また参加したいです。
- ・書字・読字障害の子どもたちのことを知ることができました。日々子どもたちと向き合う教員として何ができるか、何を行うべきか、見えてきました。
- ・大変話が分かりやすく勉強になりました。河野先生の話を通して LD の事をより理解することができ、また今、どのような検査があり、どのような対応ができるか知ることができました。
- ・松田先生の話を通して、ぜひ本校（知的障害支援学校）に DAISY 図書を導入して、子どもたちに関わってみたいと思いました。
- ・DAISY 図書は以前から知っていましたが、松田先生の話聞いて、今回活用のイメージがくらみました。ぜひ申し込んでみたいと思いました。
- ・マルチメディア DAISY 図書の存在は知っていたが、詳しくは理解できていなかったの、参加して良かったと思いました。学習障害とは何か、DAISY が子どもたちにどういう効果をもたらしているのか、最終的には公共図書館がノーマライゼーション実現するためにはどうしたらいいのか。日々の業務に追われる中で立ち止まって考えることはなかったの、改めて意識することが大事だと思いました。親せきに障害を持つ子がいるので教えてあげたいです。
- ・学習障害児について整理でき、理解が深まった。
- ・図書館の役割と現状が把握できた。
- ・自分なりの研究課題を整理しようと思った。
- ・読み書き困難者の実態が知れて良かったです。
- ・受講して電子図書の考え方が変わりました。とても良い講座でした。仕事に役立てたいと思います。
- ・たくさんの情報を得ることができました。まずは自分がわいわい文庫を見てみたいと思います。

- ・とても充実した内容でした。大満足です。学校に戻って、たくさんの先生や子どもたちに伝えていきます。毎年、DAISY 図書を伊藤忠記念財団様から寄贈いただいています。とても子どもたちが楽しみにしていると特別支援の先生から聞いています。今後ともよろしく願います。
- ・次年度入学予定の生徒が読み書きに困難を抱えているため、今のうちから準備しておこうと思ひ参加しました。今回の講座は今後の教育活動に役に立ちそうな内容ばかりで、時間がたつのが早く感じました。また参加したいです。
- ・読書バリアフリーの取り組みの状況と今後の方向がよく分かりました。自分なりの方向を考えたと思いました。実物を見られたのも役立ちました。
- ・公共図書館に勤めています。わいわい文庫も設置しています。利用もない状況です。「すべての人に読書を」を実現していくには広報など必要なのではと感じました。
- ・読み書き障害の特徴や支援方法を具体的に聞くことができ本当に参考になった。
- ・知的の学級担任です。交流学級とのつながり(社会的経験)を考えながら、学習保障を考えると…と毎年読書を取り入れて授業を行っています。新しい発見がたくさんありました。マイクロライブラリーをもう少し簡略して、本のチョイス、レイアウトで交流学級との交流を図ってほしいと思いました
- ・LD の認知の仕方、それに応じた授業づくりや環境づくりについての考え方を深めることができた。
- ・河野先生、松田先生、野口先生、そして矢部部長。知識とともに精神を教えていただいた贅沢な一日でした。こんなに濃い事業は宮崎単独では決してできませんでした。定員をはるかに超えて参加いただいたようですが、もっと参加の呼びかけを宮崎県側でもできたのではないかと、その点悔やまれるほど良い内容でした。
- ・どの講話も分かりやすく、知らなかったことを知ることたくさんありました。DAISY 図書の導入や具体的な活用方法について、今後考えていきたいと思いました。
- ・学習障害についての話も、マルチメディア DAISY の実践も聞きやすくまとめてありました。聞くことに集中できるようにスライド資料もプリントアウトしてあり、メモを取らなくて良かったこともこの講座の主旨が実践されていると思いました。
- ・マルチメディア DAISY 文庫のことに知ることができた。学習障害の子どもたちのために必要だと感じた。
- ・学習障害について知る機会に恵まれて良かったです。
- ・DAISY図書の利用について知る機会ができて良かったです。
- ・河野教授から学習障害について再確認でき良かった。小・中学校での実践につながると良いと感じた。
- ・松田先生の実践の話が聞けて、大変参考になりました。是非現場で実施してみたいと思います。
- ・実際に学習障害を持っている子どもの様子を動画で見れた。支援の様子、仕方を学ぶことができた。本で読んだりある程度の認識はありましたが、実際に見ることができ、これからの業務に活かせることが多いと感じました。わいわい文庫は当館にもあり、これから積極的に利用者にお勧めしたいと思いました。(恥ずかしながらあまりよく分かっていないことが多く…)
- ・読み書き障害の特徴について知ることができました。とても勉強になりました。学校図書館に関連する仕事をしています。一人一人のニーズに合った環境が整備された図書館づくりを進めていきたいと思います。
- ・河野先生の講義の中で、LDの方の見方捉え方を視覚的に示してくださり分かりやすかったです。もっとDAISY図書を活用して、子どもたちに読書の楽しさを伝えられるといいなと思いました。

- ・学習障害について、読書に困難を抱えている人々の現状について、初めて知ることが多く、勉強になりました。図書館関係者の一人として、読書、図書館の現状について学ぶことは大事なので、とても貴重な場です。
- ・先日、他の市立図書館や町立図書館で、一般向けの「DAISY図書がわかる本」と問い合わせたところ、該当する本がありませんでした。今日はとても興味深い内容でためになりました。貴重なお話とお時間と資料をありがとうございました。
- ・学習障害について理解を深めることができました。
- ・マルチメディア DAISY 図書のことを初めて知り、すごくいいなあと思いました。学校でも取り入れてくれるといいなあと思います。
- ・学習障害の話が分かりやすくとても勉強になった。スタートラインをそろえるためにも環境を整える必要があると感じました。今までもやもやしたものがありませんでしたが、読み書きの「正確さ」と「流暢さ」を平均と比べることにより、判断する視点になると知り、すっきりしました。松田先生の発表も具体的な取り組みが聞けて、良かったです。子どもたちも楽しく取り組めるだろうと感じました。
- ・学習障害について知らなかったことが分かり、今後対応することができるようになれると感じた。
- ・体験したことを事例に挙げて、説明をしてもらえたので、内容が入りやすく良かった。
- ・これから図書館について考えていく上での生徒が楽しめる工夫を学ぶことができました。
- ・一つ一つの講義が分かりやすい内容でした。
- ・日ごろの業務では知ることのできない学校の事例など、貴重な話を聞いた。
- ・本に親しみを持ってもらえるよう、今後の図書館(図書室)の在り方を考えるうえで参考になった。
- ・ディスレクシアの特徴について、とても勉強になりました。
- ・わいわい文庫は毎年図書館に届いていますが、残念ながら利用もなく、PR不足でもあったな…と反省しています。今日のお話で、文庫製作までの熱い思いを知り、必要としている方たちのためにも、活用方法を考えていきたいと思っています。
- ・未記入:2

やや満足の理由

- ・河野先生のお話はとても参考になりました。松田先生の話は興味深い内容ではあったが、特殊というか教諭でない私には遠い所の話となってしまった。学校図書館の立場から野口先生の話を楽しみにしていました。
- ・一つ一つの時間が足りない。質疑ができるといいですね。
- ・いろいろな障害者の方が本を読むことに、困難な思いを感じているのだと分かりました。障害のある方に対して、どう対応していき、本を読んでもらうかが今後の課題になってくると思います。DAISY図書も上手に活用することで、読書を一人でも多くの方が楽しむことができることも分かり、とても勉強になりました。
- ・特別支援学校の教員ですが、伊藤忠記念財団が「わいわい文庫」を作られ、寄贈されていることを初めて知りました。今後、利用させていただきたいと思っています。
- ・学習障害について、大学の先生からお話を聞くことができ、とても勉強になりました。また学校で活用されている実践も聞けて良かったです。
- ・学習障害や図書館のバリアフリーについて、少し理解が深まった。
- ・障害を持っている人が読書に親しむためのさまざまな道具を知ることができた。また支援の仕方も学ぶことができた。読書から遠ざけられている谷間の存在について、対応方法なども知れて良かった。
- ・松田ひとみ先生の実践は、とても身近に感じられ、実際に役立ちそうでした。
- ・知的、病弱児学校にいたので、電子図書使えそう！

- ・マルチメディア DAISY の実践について具体的に知ることができた。
- ・図書 の大切さを改めて考えることができた。

3. その他、お気づきの点がございましたら何でもお聞かせ下さい。

- ・快適な中で研修させていただきありがとうございました。そして、図書館主催でこういった内容の研修、新鮮です。ぜひまた実施してください。道づれ作戦の話し、取り組んでくださっていることのアツイ思い、伝わりました。
- ・実際に紹介してあった本を、図書館で準備していただいたのは、図書館でするメリットだと感じました。
- ・本日は大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・わいわい文庫の存在を初めて知ることができました。報告書を帰ってしっかり読みたいと思います。
- ・場所、時間配分等もとても良かった。
- ・DAISY 図書を活用しようという気持ちになった。がんばってください。
- ・検査は何歳からできるのか気になりました。
- ・道づれ作戦賛成です。すばらしい取り組み、参加させていただいて良かったです。この活動の広がりを応援いたします！
- ・タブレットをはじめ、各種展示物も参考になりました。
- ・今後も道づれ作戦の展開をよろしく願います。
- ・宮崎の県北地区でもぜひ開催していただきたいです。
- ・素晴らしい活動だと思うので、もっといろいろなところに広げてほしいと思います。
- ・図書館は“サービス業”！赤ちゃんからお年寄りまで多くの方がお客様です。さまざまな人に少しでも満足していただける図書館を目指していく必要・努力を感じました。
- ・障がい福祉課に勤務していた時に DAISY のことを知りました(7、8年前)。障害者団体の方からあまり普及していないと聞いていましたもので、もっと普及すると良いなあと思います。この企画もその一つでしょうが、さらなる拡大を期待しています。DAISY は障害の有無にかかわらず読書に関わる人たちへの基礎的環境整備につながるものではないかと考えます。
- ・特別支援学校での図書館づくりガイドブックみたいなものができるとうれしいです。校内での組織づくり・環境整備(レイアウト・デザインを含む)、管理システム・図書館運営(ボランティア活用)・カリキュラムでの活用 など。
- ・障害者教育に携わる者として、伊藤忠記念財団の取り組みのすばらしさに感銘を受けました。これからもますますのご活躍をお祈りするとともによろしくお願いします。
- ・今後活用したい。
- ・本日は貴重な時間を過ごさせていただきました。宮崎でこのような機会を設けていただきましたことに感謝いたします。
- ・本を出して少しでも貢献できて良かったです。
- ・マルチメディア DAISY を普及させるための「図書館員と教員の実践のための講習会」をやってください。「一般へ」と「教員へ」と「図書館員へ」と、3回あると嬉しいです。
- ・こんなに困っている読者がいるのに、出版点数が多すぎる為なのか、正直なところ、どうしてもよい本→点訳・音訳が簡単、その分野で重要な本、公共図書館で1冊買うならこの本というような本→訳が難しくめんどくさい、ということで、サピエ図書館の全体的な質が低いように感じられています。わいわい文庫は質が高そうです。

- ・できるだけ多くの学校の教員に今日のような話を聞き、適切な対応ができる先生たちを一人でも多く増やせたらと思います。
- ・入手方法が団体のみに限られているとのこと、事務局体制をうかがうと現状では仕方ないかと思しますので団体から個人へつなげるために、いろいろな場面でのより一層の周知が必要だと思います。
- ・学校（異動した先）では、手続きをしていないようなので、また後日連絡させてください。
- ・わいわい文庫について。本校では児童生徒の iPad 所用が多く、パソコンではなく iPad にインストールする方法、また、校内 LAN に接続してクラウドのように利用できると、利便性がさらに増すと思いました。
- ・今回初めて宮崎県に来ていただき、ありがとうございました。今後県内のいろいろなところでも開催していただくと、もっと賛同者が増えると思います。
- ・図書館で考えたときに、専門的な人といかに協力していけるのか、今ある施設や資料でどうしていくのか、スペースなどの問題もあり、考えさせられました。DAISY などの使い方の研修をどうにかできるようにしないとイケないなと思いました。
- ・これから積極的に活用してみたい。
- ・もしまた機会があればお願いしたい。もっと多くの方に知ってほしい、学んでほしい内容だと思うので。
- ・学習障害はどれくらい世間から理解されているのでしょうか？小学校に入ったときそれぞれの小学校で学習障害かどうか判断するチェックがあるのでしょうか？マルチメディア DAISY 図書が県立図書館でもたくさんの方に活用していただくと良いなと思いました。
- ・マルチメディア DAISY 、ぜひ活用させていただきたいと思います。
- ・あん摩・はり灸の資格試験や医学学習に役立つようなマルチメディア DAISY が増えると良いと思います。
- ・視覚支援学校で鍼灸マッサージの指導をしています。医学系の専門書や国家試験対策用のマルチメディア DAISY の普及が今後進むと良いと思います。私自身も弱視で、長年読書について困り感を抱いてきました。当事者として、私たちが声を上げていきたいと思っています。
- ・電子媒体で読む読書、耳で読む読書の多様性を考えていきたいと思いました。この研究会を機に、宮崎県の特別支援学校の学校図書館学校司書配置への動きが出てほしいと思った。
- ・現状をどう変えるか、その地域にある具体的な事例をもとに、講師にいろいろな意見が聞ける機会があるといいですね。
- ・未記入：42